



MECENAT

AWARDS

2002

メセナ大賞 2002

Association for Corporate Support of the Arts
社団法人 企業メセナ協議会



メセナ大賞 2002

「メセナ大賞」は、企業によるメセナ活動の充実と本活動への関心を高めることを目的として1991年に創設されました。

日本に所在する企業および企業財団によって2001年4月以降におこなわれたメセナ活動のなかから芸術文化の振興に高く貢献した活動を表彰いたします。大賞以外の賞の名称についてはそれぞれの活動の評価ポイントを反映させて審査委員会にて考案、決定いたしました。

MECENAT AWARDS 2002

受賞企業には、表彰状とトロフィーを贈呈します。



ラディカル・プラント
RADICAL PLANT

●
ブロンズ、黒御影石
37×18×12cm

トロフィー制作

鷲見和紀郎（すみ・わきろう）

彫刻家。1950年、岐阜市生まれ。72年、Bゼミスクール修了後、彫刻家・三木富雄のアシスタントを経て、76年、ニューヨークに滞在。86～87年、日仏芸術家交流計画により在仏。99～2000年、文化庁特別派遣芸術家・在外研修員としてリヨンに滞在。個展・グループ展歴多数。

制作コンセプト ●メセナ大賞の意味を考えたとき、新しさの追求のみにとらわれないで、よりラディカル（根本的）で持続的な営みに対して光をあてることこそ、ふさわしいと思いました。ニューメディアとハイテクノロジーの時代といわれるいま、あえて伝統的な素材（ブロンズ）と古典的な主題で作品をつくってみました。主題は「水と花〈水と生命の成長〉」です。文化活動を成長する植物のイメージとすると、メセナ活動はまさしく水にたとえることができるでしょう。

※トロフィーの制作者は、セゾン現代美術館館長の難波英夫氏に協力いただき、指名コンペティションを実施して選びました。

ごあいさつ

「メセナ大賞2002」の受賞活動7つを決定いたしました。受賞される企業の皆さま、誠におめでとうございます。

本賞は、優れたメセナ活動により芸術文化の振興に高く貢献された企業・企業財団に対して、その功績をたたえ、活動の充実を祈念してお贈りするものです。本年も、全国から多数のメセナ活動をお寄せいただきました。

91年に創設しました本賞も12回目を迎え、今回をもって95件の活動を表彰させていただくこととなりますが、ご応募いただいた件数はその20倍以上にのぼります。支援対象や活動の形態も多岐にわたり、いずれの案件も各社の創意工夫に満ちた内容で、この間の企業メセナの充実ぶりを実感するばかりです。経済状況が厳しいなか、こうした活動を日々推進しておられる企業のご努力に、心から敬意を表したいと思います。

このたび受賞されます各社は、それぞれが取り組まれた芸術分野の発展に大きな役割を果たしてこられました。今後も活動を継続していくなかで、メセナの地平をより大きく広げていただきたいと期待しております。

あらためまして、ご応募ならびにご推薦をいただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。そして、百花繚乱の案件のなかから限られた数の受賞活動を選ぶという労をいとわず、3年間にわたりご尽力いただきました審査委員の皆さまにも、心より御礼を申し上げます。

昨年末に文化芸術振興基本法が施行され、芸術文化に対する社会の関心が高まるなか、企業メセナへの期待も増してきております。当協議会も芸術文化振興の一助を担うべく活動を展開してまいりますので、今後なおいっそうのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社団法人 企業メセナ協議会
会長・理事長 福原義春

審査委員

■ 池上 惇 (いけがみ・じゅん)

京都橘女子大学文化政策学部長、京都大学名誉教授。経済学博士。
専門は、文化経済学、財政学で、とくに地域の固有性を活かした創作的まちづくりの研究をおこなっている。主著に『文化経済学のすすめ』、
『生活の芸術化——ラスキン・モリスと現代』、『現代のまちづくり』（共著）ほか多数。

■ 池田逸子 (いけだ・いつこ)

音楽評論家。ミュージック・ペンクラブ・ジャパン運営委員。岩波講座『日本の音楽・アジアの音楽』（共著）などを執筆するかたわら、既成の評価やジャンルにこだわらない自由な視点から「アサヒビール・ロビーコンサート」ほか多数のコンサートの企画や制作もおこなっている。

■ 富永壮彦 (とみなが・たけひこ)

音楽評論家。58年、共同通信社入社、30年余にわたり文化部で音楽を担当し93年に退社。以来、フリーの音楽ジャーナリストとして活動続ける。
93～98年、昭和音楽大学にて音楽ジャーナリズム論と音楽評論概論の講座をもつ。
日本記者クラブ、東京音楽ペンクラブ会員。著書に『私の好きな演奏家』ほか。

■ 中沢けい (なかざわ・けい)

作家。『海を感じる時』（78年）で群像新人賞、『水平線ににて』（85年）で野間新人賞受賞。現代人の内面をとらえた文学作品を数多く発表するほか、評論、エッセイなど多数執筆。各誌で文芸時評、メディア時評も手がける。
最新作『月の桂』（2001年）は幅広い層から好評を得た。

■ ピーター・バラカン (ピーター・ばらかん)

ブロードキャスター。ロンドンに生まれ、74年以来、東京在住。
「CBSドキュメント」（TBS／日曜日深夜）ほか、多くのテレビ・ラジオ番組に出演している。
ジャンルや時代にとらわれない音楽ラジオ番組づくりに使命感をもち、その目標を進めるために理解のある企業を募集中。

■ 平田オリザ (ひらた・おりざ)

劇作家・演出家。「劇団青年団」主宰。桜美林大学助教授。
現在、自身が所有、経営する「こまばアゴラ劇場」を拠点に演劇活動続けるほか、教育、言語、文芸などさまざまな分野で、批評や随筆を発表している。
95年に『東京ノート』で岸田國士戯曲賞受賞。

■ 福田美蘭 (ふくだ・みらん)

画家。第32回安井賞（89年）、第7回インドトリエンナーレ金賞（91年）など数々の賞を受賞。99年には国立国際美術館にて個展「福田美蘭展」を開催するなど、現在、もっとも注目を集めている気鋭の美術家である。
作品集に『福田美蘭 PICTURESQUE 1992-1998』（98年）がある。

■ 本江邦夫 (もとえ・くにお)

多摩美術大学美術学部教授、府中市美術館館長。
76年より東京国立近代美術館に勤め、企画・資料課長、美術課長を経て98年に退職。
19世紀末から現代にかけての美術を中心に、芸術全般について幅広く深い視座からの評論活動を展開している。著書に『絵画の行方』など。

■ 福原義春 (ふくはら・よしはる)

(株)資生堂名誉会長。(社)企業メセナ協議会会長・理事長。
企業の社会貢献、文化へのパトロネージュなどにも関心が高い。
『企業は文化のパトロンとなり得るか』（90年）、『文化資本の経営』（99年）、
『メセナの動き メセナの心』（2000年）など多数の著書を出している。

(敬称略・50音順)

選考経過

「メセナ大賞2002」は、本年3月上旬より募集を開始し、5月末で応募を締め切りました。案件の募集にあたっては、自らの活動を応募いただく自薦方法とあわせて、各地の自治体や新聞社、芸術関係者の方々から、優れたメセナ活動をおこなっている企業や企業財団を推薦いただく方法を採用しました。その結果、11件の推薦を含む計103件(85団体)のご応募をいただくことができました。これらの全応募案件について、協議会会員の担当者からなる大賞部会で約4ヶ月にわたる調査・取材をおこない、9月下旬の審査会に諮りました。

審査委員は3年間の任期でお願いしており、本年が最終年にあたりましたが、文化庁長官に就任された河合隼雄氏にかわって池上惇氏に後任をお引き受けいただきました。長時間におよぶ審議の末、受賞活動7件を選び、そのなかから大賞を選出、残る6件には特に評価された点を賞の名称に反映させています。

今回の全応募案件を概観して顕著であったのは、芸術文化の享受者あるいはアマチュアの活動に目を向けた支援が多かったことです。こうした方面へ支援を広げることで、より深く芸術文化に親しむ誘因がつくられ、支持層の拡大につながることが期待されます。また全国各地からは、地域に根差した活動が多く寄せられ、地域の活性化もしくはアイデンティティ醸成のためにメセナに励む企業が増えてきていると感じられました。一方、長年にわたりメセナを推進してきた企業では、その地道な活動が定着し、芸術面での質の高さはもとより運営面での工夫・洗練の度合いが高まっているように思われます。

今回大賞を受賞された朝日放送は、わが国の音楽界への長年の貢献が特に評価されましたが、他の受賞企業においても、各分野での専門性の高さと独自のノウハウにもとづく取り組みが支持されました。

そのほか、惜しくも受賞にはいたらなかった案件のなかにも、今後のメセナのあり方にヒントをもたらすような活動が多くありました。これらの活動には今後も注目し、さらなる展開に大いに期待したいと思います。

社団法人 企業メセナ協議会
大賞部会

メセナ大賞2002 受賞活動

[紹介ページ](#)

メセナ大賞



朝日放送株式会社

p06

ザ・シンフォニーホールの運営と事業活動

企業文化賞



鹿島建設株式会社

p08

「KAJIMA彫刻コンクール」の実施

企画賞



麒麟ビール株式会社

p10

「キリンダンスサポート」創設に
結びついた体系的な現代舞踊支援

情報発信賞



東陶機器株式会社 (TOTO)

p12

ギャラリー・間の活動

奨励賞



凸版印刷株式会社

p14

コンサートホール「トッパンホール」の運営

地域文化賞



株式会社飛騨庭石

p16

祭屋台の制作および
「飛騨高山まつりの森」の運営

育成賞



株式会社リクルート

p18

クリエイションギャラリーG8と
ガーディアン・ガーデンの運営

メセナ大賞



朝日放送株式会社

ザ・シンフォニーホールの運営と事業活動

ザ・シンフォニーホールは、1982年、朝日放送の創立30周年記念事業として、大阪北区の本社隣りに建設された。同社ではそれまでもクラシック音楽の主催公演をおこなっていたが、本格的なコンサートホールがまだ日本になかったことから、当時社長の原清氏の提案により実現されたものである。パイプオルガンを擁した1,704席のコンサートホールの誕生は、後に続く専用ホールの先駆けであり、関西のみならず日本の音楽界に大きな波紋をもたらした。

開設当初より「地元にも愛されるホール」をめざし、「グローバルスタンダードとなりうるオーケストラを大切に」との方針を掲げて、関西フィルの定期演奏会の場として活用され、大阪フィルの主催公演も多く開催。後に大阪センチュリーや大阪シンフォニカーも定期演奏会に用いるなど、在阪オーケストラの活動拠点となってきた。自主事業でも関西の演奏団体を起用しており、故・朝比奈隆氏が指揮する大阪フィルには、85年より年3～5回

の公演を依頼、同ホールの性格を特徴づけるシリーズとして定着した。

一方、99年からは、小中学生・高校生を対象とした芸術鑑賞会を実施したり、学生や子どもたちの見学を受入れるなど、地域の人たちの利用を促している。また放送との連携をはかり、テレビでは、バラエティ番組「クラシック解体新書」や「朝比奈隆のブルックナー」などを制作・放送。ラジオでも毎週日曜日の朝に「ザ・シンフォニーホールアワー」という番組を設けてコンサートの様子を紹介するなど、気軽にクラシック音楽に親しめる番組づくりに取り組んでいる。

内外から一流の音楽家を招いて上質のプログラムを提供するとともに、クラシックファンの拡大にも努める。「100年後に真価が問われる」という同ホールの活動は、ちょうど20年の節目を迎えたところである。



評価ポイント コンサート専用ホールとして先駆的な存在であり、日本のクラシック音楽界に果たした役割は大きい。バラエティに富んだプログラムや社業との連携などに工夫が見られる。

企業プロフィール（2002年9月現在）

本社所在地	大阪府大阪市	資本金	18億円
業種	一般放送業	従業員数	766人
創立年	1951年	URL	http://asahi.co.jp/



鹿島建設株式会社

「KAJIMA彫刻コンクール」の実施

「KAJIMA彫刻コンクール」は、1989年、鹿島建設の創立150周年記念事業としてスタートした。彫刻は建築とのかかわりが深く、これからは彫刻によって建築物の芸術性や付加価値を高めていくことが求められるであろうとの考えから、現・最高相談役の鹿島昭一氏が発案したものである。以来、隔年で実施され、2001年には第7回をおこなうにいたった。

同コンクールは、実物の3分の1サイズの模型で第一次審査をおこない、15名の入選者に実際に作品を制作してもらったなかから各賞を選ぶというものである。制作された入賞作品と入選作品2点を、東京・赤坂にある同社KIビルのアトリウムに展示し、次のコンクールがおこなわれるまでの2年間、一般公開している。また、コンクールの実施直後には、模型も含めての展覧会を開催し、優れた応募作品を紹介。入選作品の制作にかかる費用を同社が補助するほか、賞金も授与している。

毎回、300点前後の応募があるうち半数近くがリピーターであり、

30～40歳代で数々の彫刻コンクール経験者が多いが、一方で若手作家の登竜門としても知られている。また、ホームページでも募集をおこなっているため海外からの応募もあり、第7回の応募総数は338点で、そのうち海外からの応募は36点を数えた。

応募作品の選考については美術の専門家を委員として迎えているが、コンクール全般の運営は社内で「KAJIMA彫刻コンクール実行委員会」を組織してあたっている。広報、総務、建築設計エンジニアリング本部、関連会社など、さまざまな部署から委員が出て横断的に取り組む。

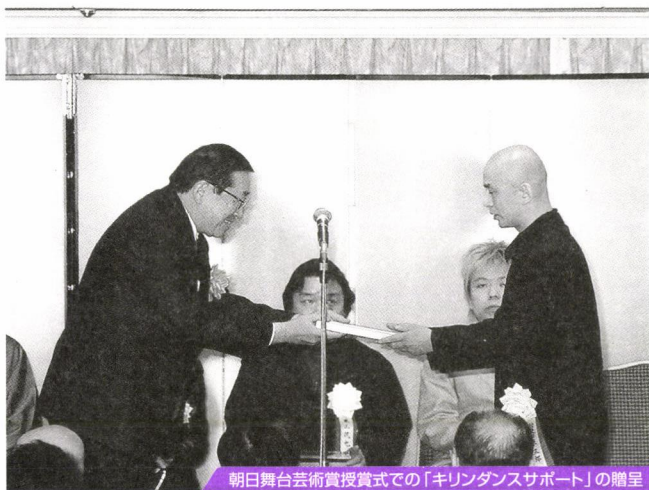
2年近くにわたって作品を展示するなかで、作品の斡旋や作家の紹介にもつとめており、入選者の後の作家活動にも寄与するコンクールとして、彫刻界・建築界ともに広く知られている。



評価ポイント 建築にたずさわる企業ならではの発想や視点が活かされたコンクールである。 長期にわたり作品を自社ビルに展示することで、広く作家を紹介している。

企業プロフィール（2002年4月現在）

本社所在地	東京都港区	基本金	640億円余
業種	建設	従業員数	11,664人
創立年	1930年	URL	http://www.kajima.co.jp/



朝日舞台芸術賞授賞式での「キリンダンスサポート」の贈呈

キリンビール株式会社

「キリンダンスサポート」創設に結びついた体系的な現代舞踊支援

キリンビールでは、87年に開設したKPOキリンプラザ大阪の運営および90年からの「キリン アートアワード」の実施を通じて、現代アート分野において先鋭的な表現を取り上げてきた。そのなかで、現代舞踊に対しては企業からの支援があまりない状況を知り、同社のメセナ活動の重点的な対象として取り組むことになる。

まず、従来の活動を通じてかかわったアーティストやダンスカンパニーを中心に公演を協賛する一方で、ダンスの裾野を広げる活動にも目を向け、ワークショップや観客参加型のプロジェクトも支援。これは従来の活動が自ずと継続・展開していった結果である。99年からは、新国立劇場の「コンテンポラリーダンスシリーズ」、世田谷パブリックシアターの「21世紀舞踊」シリーズを年間サポート。これらはもともと劇場側であたためていた企画だが、両劇場とのやりとりのなかから協力体制を築いていった。劇場側の企画をベースに話し合いながら、新たな可能性に挑戦する表現の提案を応援している。

こうした活動がさらに発展したのが、朝日新聞社が主催する「朝日舞台芸術賞」への参画である。同賞は、演劇やダンスなど優れた舞台芸術活動に対する顕彰を目的に2001年に創設されたもので、グランプリの他に舞台芸術賞など幾つかの賞が与えられる。「キリンダンスサポート」は、これら受賞作品のうち現代舞踊の一作品に対して、地方を含む再演を条件に最高1,000万円を支援するものである。これは、アーティストや劇場関係者との意見交換から、ダンス公演は「期間が短い」「地方公演が少ない」「再演の機会がない」との問題を知り、それに対してキリンビールができることを朝日新聞社に提案したものである。

現代舞踊の分野で求められる支援のあり方を探りながら、その活動を進化させ、多岐にわたる取組みがなされている。

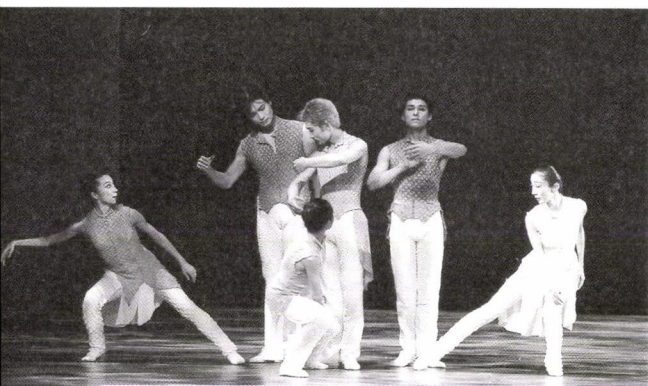


Photo © 池田直樹

評価ポイント 現代舞踊という分野に着目し、多岐にわたる支援活動をおこなっている。支援を受ける側のニーズを汲み取り、それに応じたサポートを展開させている。

企業プロフィール（2002年4月現在）

本社所在地	東京都中央区	資本金	1,020億4,500万円
業種	食品	従業員数	6,540人
創立年	1907年	URL	http://www.kirin.co.jp/



東陶機器株式会社 (TOTO)

ギャラリー・間の活動

ギャラリー・間は、TOTOが1985年10月に開設した建築・デザイン専門のギャラリーである。東京・乃木坂にある同社ビルの3・4階を「何か社会に貢献できる場にしたい」との考えから設けられたものであり、これまでに数多くの建築家等の仕事を紹介してきた。

通常は年4回、約2ヶ月の会期で展覧会を開催しており、2002年9月で100回目を数えた。おもに現在の活躍が注目される建築家の個展をおこなっているが、着眼点は「いかに次代を担う若者たちに刺激を与えるか」であり、客層としては学生が主対象である。企画は同社文化推進部のスタッフが立案し、4名の専門家からなるギャラリー・間運営委員会で決定される。

2001年度におこなわれた展覧会は、「住宅のル・コルビュジエ展 全プロジェクト模型と家具」「難波和彦展『箱』の構築」「坂本一成展 日常の詩学」「北山恒展 On the Situation」の4本。特に「住宅のル・コルビュジエ」展は、図面にしか残されていないプロジェクトまで模型化するという試みが好評で、過去最高の1万3,000人

を超える来場者があった。これら展覧会の内容は、論考や資料を加えた書籍としてまとめられ、TOTO出版から発行されている。

さらに96年からは、展覧会に関連するテーマによる連続レクチャー「空間術講座」を開催、毎回、建築を学ぶ学生を中心に約100名の聴講者を集めている。また、ギャラリーの休館日には大学の授業利用を受入れるなど、企画内容を深く掘り下げる取り組みをおこなっている。

こうした活動を地方でも展開しようと、2000年からは展覧会を各地に巡回。地方の大学を中心に市民グループや建築団体などからも要請があり、2001年は11ヶ所での巡回展を実施した。展覧会を核として、レクチャーや出版、巡回展など活動の幅を広げている。



評価ポイント 建築に特化したギャラリーとしての専門性の高さ。

東京での展覧会活動にとどまることなく、出版や巡回展などを通じて全国に情報を発信している。

企業プロフィール（2002年3月末現在）

本社所在地	福岡県北九州市	資本金	355億7,900万円
業種	衛生設備機器製造	従業員数	9,000人
創立年	1917年	URL	http://www.toto.co.jp/

奨励賞



トッパンホール 舞台から客席を見る

凸版印刷株式会社

コンサートホール「トッパンホール」の運営

2000年10月、凸版印刷の創業100周年記念事業として建てられたトッパン小石川ビルの1階に、「トッパンホール」は開設された。新世紀の情報コミュニケーション産業を標榜する同社が、〈見る〉だけでなく〈聴く〉感性にも訴えようと、上質の音楽を提供する場を設けたものである。「音の聖域」をめざしたホールは、材質から構造まで音響効果に最大限の配慮がなされ、座席位置による差異が少なく408席すべてがS席、とりわけ室内楽には最適の環境となっている。

自主事業では何よりもクオリティの高さを重視し、テーマ性をもたせたシリーズに取り組むとともに、若手アーティストの発掘と育成にも力を入れている。毎月半ばの水曜日におこなってきた「デビューコンサート12:15」は、昼12時15分に始まる30分間のミニコンサートで、年2回のオーディションで選ばれた12人の新人が登場。コンサートの内容についても応募者自らが企画し、無料で定期的な開催のため近隣の住民や同社社員も気軽に訪れた。また、これ

からが期待される若手演奏家を2年にわたり3回のコンサートを通じて紹介する「エスポワール」では、ホール側と演奏家がともに企画を練り、将来に向けてさらに力がつくような曲に挑戦するなど、その可能性を広げる舞台を用意している。

観客開発にも取り組む。夜のコンサートには足を運びにくい高齢者や幼児連れなどの客層を考慮して、託児サービスも備えた平日のマチネを開催。通常、マチネは集客面で厳しいといわれるが、ラインナップを充実させて観客からも好評である。また、地元紙にチラシを折り込んだり近隣ビルに配布するなど、地域の方々に対しても積極的にアピールしている。

開館して日の浅いホールながら活動内容が充実しており、今後の展開に期待が寄せられる。



評価ポイント 明確なコンセプトにもとづくプログラムのシリーズ化と、そのクオリティの高さ。アーティスト支援と観客開発の双方に積極的に取り組んでいる。

企業プロフィール (2002年3月現在)

本社所在地	東京都千代田区	資本金	1,049億8,600万円
業種	印刷	従業員数	12,748人
創立年	1900年	URL	http://www.toppan.co.jp/

地域文化賞



「飛騨高山まつりの森」に展示される祭屋台

株式会社飛騨庭石

祭屋台の制作および「飛騨高山まつりの森」の運営

飛騨高山で毎年春と秋におこなわれる高山祭は、からくり人形を乗せた豪華な祭屋台（山車）で知られ、日本三大美祭のひとつにあげられる。春・秋あわせて23台ある山車は江戸時代につくられたもので、高山祭屋台保存会により修復を重ねながら用いられてきた。

同保存会の宮大工から「山車を修復するだけでなく、新しくつくってみたい」との声を聞き、飛騨庭石社長・中田金太氏が、飛騨の匠の技を次代に伝えていこうと「平成の祭屋台」制作を構想。江戸期につくられた山車が焼失等により8台失われていたことにちなみ、新たに8台をつくることになった。ただし、失われた山車を復元するのではなく、現代の感覚で、当代屈指の技術を集結して「平成の祭屋台」をつくり、後世に残すことをめざした。

祭屋台の意匠・設計にはじまり、一位一刀彫りや鉄金具造りには飛騨の匠があたり、ほかには輪島塗や井波の木彫り彫刻、高岡の鋳金具、京都の見送幕、金沢の金箔、愛知のからくり人形、松

任の太鼓など各地の名工たちが参加。最初の「金鶏台」は89年冬に着手され、93年に完成。続いて「臥龍台」「神楽台」「金時台」「福寿台」「龍虎台」「力神台」といずれも数年の歳月をかけてつくられ、2001年夏に8台目となる「竜王台」が完成した。かかわった職人は当時18～87歳まで、総勢約150名にのぼる。

こうしてできた祭屋台をいつでも多くの人たちに見てもらいたいと、市街地に近い南西の山中に直径40m・高さ20mのドームをくりぬき、「飛騨高山まつりの森」を開設。ここでは常時、平成の祭屋台が展示され、それぞれの屋台から順番にからくり人形があらわれて訪れる客を楽しませている。あわせて世界一の太鼓や日本一の神輿も展示され、「まつりの森」は高山市の観光スポットとして、年間70万人を超える来場者を迎えている。



評価ポイント 祭屋台の制作を通じて職人の技の継承と発展に果たした役割は大きい。「まつりの森」の開設・運営により、地域経済の活性化に貢献している。

企業プロフィール（2002年10月現在）

本社所在地	岐阜県高山市	資本金	4,000万円
業種	不動産開発	従業員数	20人
創立年	1971年	URL	http://www.takayamaland.co.jp



株式会社リクルート

クリエイションギャラリーG8とガーディアン・ガーデンの運営

リクルートは1985年、「デザインとコミュニケーション」をテーマにG7ギャラリーを開設した。社業ともかかわりの深いグラフィックデザインの分野を中心に、内外の第一線で活躍するクリエイターの仕事に注目。89年からは銀座8丁目の本社屋内に場所を移して「クリエイションギャラリーG8」と呼称を変えた。

ADCやJAGDAなど広告・デザイン業界の最先端が見られるコンペティションの紹介に加え、その制作プロセスに迫る個展など、これまでの企画展の数は200本を超え、年間来場者は約3万人におよぶ。展覧会ごとに出展者によるトークショー「クリエイティブサロン」もおこなっており、クリエイター志望の学生らに人気である。

一方、90年には、「若者たちの可能性を実現する場」としてガーディアン・ガーデンを渋谷でスタート。アルバイト・就職情報誌を発行する同社として「若者文化」を応援することをめざした。現在では銀座にギャラリーを設け、グラフィックや写真を中心とした展覧会を開催しているが、なかでも92年から始まった公募展「ひとつぼ」

展は、若手登竜門として知名度と実績がある。これは、3.3m²（ひとつぼ）に対する作品を募集し、複数名の入選者のなかから公開審査でグランプリを選んで、受賞者には翌年、個展を開催するチャンスを与えるというものである。

またパフォーミングアーツの分野でも、年1回の「演劇フェスティバル」を続けており、この10年の間に輩出した劇団やダンスカンパニーはその後の活躍が著しい。

そのほか、ふたつのギャラリーが連携しての共同企画展や、ベテランと若手が同じテーマに取り組むチャリティー展なども開催。いわば「卵から鶏まで」——G8とガーディアン・ガーデンそれぞれの特色を活かしながら、常に新たな表現にチャレンジする場を提供している。



評価ポイント ふたつのギャラリーの個性を明確に打ち出しながら、相互に関連した企画への取組みがよい。10年にわたり若手登竜門としての役割を果たし、その成果が着実にあらわれている。

企業プロフィール（2002年4月現在）

本社所在地	東京都中央区	資本金	30億264万円
業種	出版・情報サービス	従業員数	4,125人
創立年	1963年【創業1960年】	URL	http://www.recruit.co.jp/GG/

メセナ大賞2002 応募一覧

アイカ工業(株) アイカ現代建築セミナーの実施	愛知県
(財)愛銀教育文化財団 教育・文化活動に対する助成ならびに援助活動	愛知県
青森三菱電機機器販売(株) 弘前パッハアンサンブルへの寄付	青森県
(株)秋村組 「びわこから生まれたケンチク第二弾～つちのこ～」の実施	滋賀県
アサヒビール(株) 「音楽キャラバン」の実施 ほか1件	東京都
朝日放送(株) ザ・シンフォニーホールでの運営と事業活動	大阪府
出光興産(株) 「題名のない音楽会」提供継続を通じた音楽活動の支援	東京都
(株)イトーヨーカ堂 小さな童話大賞の実施	東京都
(株)伊予銀行 伊予銀行地域文化活動助成制度	愛媛県
NECソフト(株) 武生国際音楽祭への助成	東京都
オムロン(株) オムロンパイプオルガンコンサートの実施	京都府
鹿島建設(株) 「KAJIMA彫刻コンクール」の実施	東京都
関西電力(株) かんでんコラボ・アート21の実施	大阪府
(株)北川鉄工所 キタガワアザレアコンサートの活動	広島県
キリンビール(株) 「キリンダンスサポート」創設に結びついた体系的な現代舞踊支援	東京都
近畿労働金庫 「エイブル・アート近畿2001」の実施	大阪府
(株)クマイ商店 アートフォーラム谷中 および 谷中界隈のアート普及活動	東京都
(株)けいはんな および 協賛企業・団体各社 けいはんなプラザ・ブチコンサートの開催	京都府
(株)講談社 「本とあそぼう 全国訪問おはなし隊」の活動	東京都
コスモ石油(株) コメンタリーマガジン『ダジアン』の発行	東京都
(株)シアター・ドラマシティ 劇場運営を通じての演劇文化育成活動	大阪府

GEコンシューマー・クレジット(株) ほのぼの童話館の運営	大阪府
(株)商船三井 ふじ丸ギャラリーの運営	東京都
真生印刷(株) 花と緑で世界を結ぶ児童・生徒絵画コンクールの実施	大阪府
(財)新日鐵文化財団 紀尾井ホールにおける音楽文化の振興および支援	東京都
(株)鈴廣蒲鉾本店 「小さな美術展 かまぼこ板絵国際コンクール」の実施	神奈川県
住友商事(株) 「住友商事ヤングシンフォニー」〜ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラの支援・コンサート主催	東京都
住友生命保険(相) 「全国縦断チャリティコンサート」の実施 ほか1件	大阪府
全日空スカイホリデー(株) 「美しい海(ちゅうらうみ)と島唄の物語」の実施	東京都
第一生命保険(相) 第一生命ホールへの支援	東京都
(株)第一ホーム 二人の美術館の運営	島根県
(株)大光銀行 長岡交響楽団の活動支援	新潟県
(株)大丸 大丸ミュージアムの設置・運営 ほか1件	大阪府
(株)タカキベーカリー アンデルセンのメルヘン大賞の実施	広島県
高松建設(株) ランチタイム・ミニ・コンサートの開催	大阪府
(株)丹青研究所 専門情報誌『ミュージアム・データ』(季刊)の発行・無料配布	東京都
(株)千葉銀行 ちばぎんアートギャラリーの展開 ほか1件	千葉県
(財)中信美術奨励基金 「京都美術文化賞」の贈呈ほか	京都府
中部日本放送(株) CBCクラブ文化賞(くちなし章)贈呈	愛知県
津和野信用金庫 地域芸術文化振興・支援活動(歌曲のタベ及びクラシックのタベ)	島根県
TOA(株) 「小中学生のための世界の民族楽器紹介 邦楽シリーズ」の実施 ほか2件	兵庫県
田苑栗源酒造(株) 酒蔵サロンコンサートの開催	鹿児島県

東京オピニオンズ 東京オピニオンズの活動	東京都
東京ガス(株) 「土と炎のワンダーランド」第35回 小・中学生陶芸コンクールの実施	東京都
東京ガス都市開発(株) 第5回パークタワーホール「能」の開催	東京都
(財)東芝国際交流財団 フランス・ルーヴル美術館向け日本語版解説パネル制作・寄贈	東京都
東陶機器(株) ギャラリー・間の活動	福岡県
東レ(株) 「デジタルクリエイションアワーズ」をはじめとするデジタルアートの支援	東京都
凸版印刷(株) コンサートホール「トッパンホール」の運営 ほか1件	東京都
(株)トナカイ 若手アーティストの育成とオペラファンの拡大	東京都
トヨタ自動車(株) 「トヨタアフター5コンチェルト」～プロとアマの共演～の開催 ほか2件	愛知県
日産自動車(株) NPOとのパートナーシップによる未来の人材育成プログラム-日産NPOラーニング奨学金制度	東京都
(財)日本生命財団 "広がれ、元気っこ活動"——児童・少年の健全育成助成	大阪府
ニッセイ同和損害保険(株) フェニックス・エヴォリューションシリーズの実施 ほか1件	大阪府
日本サムスン(株) 韓国の芸術活動の紹介に対する資金援助 ほか1件	東京都
日本出版販売(株) 書店での読み聞かせ会「おはなしマラソン」の実施	東京都
日本たばこ産業(株) JTアートホール アフィニスでの活動	東京都
日本電気(株) パートナーシップによるコミュニティ・コンサートシリーズの実施	東京都
日本ユニシス(株) ヴァイオリンリサイタルでの盲人誘導ボランティア活動	東京都
ハウステンボス(株) 生態系の回復を目指した自然環境蘇生への取り組み	長崎県
(株)飛騨庭石 祭屋台の制作および「飛騨高山まつりの森」の運営	岐阜県
平塚ステーションビル(株) ラスカ・チャリティコンサートを中心とした音楽活動 ほか1件	神奈川県
(財)ひろしん文化財団 日本画展の開催	広島県

(株) フェリシモ 国際デザインコンテスト「デザイン21」の開催 ほか1件	兵庫県
(株) 福岡シティ銀行 「博多に強くなろう」「北九州に強くなろう」シリーズの実施	福岡県
(財) 福岡文化財団 プロムナード・コンサートの開催	福岡県
(株) 福田組 公募展「環境と都市の美術」展の実施	新潟県
富士インフォックス・ネット(株) 現代美術のポータルサイト「ASIAN ART-NET.COM」の運営	東京都
(株) フジカワ画廊 美術館等の展覧会への出品協力、内外の若手作家の発表の場としてのfujikawa gallery/nextの開設	大阪府
(株) ベネッセコーポレーション 直島全域での現代美術展「スタンダード展」の実施	岡山県
(株) 細田工務店 リボン館の活動	東京都
北海道放送(株) 創立50周年記念「第九」演奏会の開催	北海道
松下電器産業(株) 日本伝統工芸に対する支援 ほか1件	大阪府
三浦工業(株) 三浦美術館大賞展の実施	愛媛県
三井住友海上火災保険(株)・三井住友海上きらめき生命保険(株)・(財)三井住友海上文化財団 合併記念チャリティコンサートの開催	東京都
三越(株) 三越劇場の開設と運営 ほか1件	東京都
三菱地所(株) 三菱地所の SHALL WE コンサートの開催 ほか1件	東京都
(株) メニコン 「メニコンスーパーコンサート」の実施 ほか1件	愛知県
(株) 八木橋 熊谷歌舞伎の会への支援	埼玉県
(株) 安井建築設計事務所 地域における近代建築の意義の検証、およびそれらの保存への支援	大阪府
安田火災海上保険(株) *2002年7月1日より(株)損害保険ジャパンに社名変更 TV文化番組「安田火災スペシャル」の提供	東京都
ヤマハ(株) ヤマハ管楽器新人演奏会の開催	静岡県
(株) 楽多 「路上演劇祭JAPAN2001」への支援	東京都
(株) リクルート ガーディアン・ガーデンの運営 ほか1件	東京都
(株) レインズインターナショナル 「Live A Life」への資金的サポート	東京都

これまでの受賞企業

2001

- | | |
|---------|---|
| メセナ大賞 | ❖ 安田火災海上保険(株)
安田火災人形劇場「ひまわりホール」の活動 |
| 国際交流賞 | ❖ (財)アサヒビール芸術文化財団
芸術系外国人留学生への支援・交流活動 |
| 企業文化賞 | ❖ (株)INAX
「世界のタイル博物館」等の運営ならびに陶芸作家への支援 |
| 人材育成賞 | ❖ 花王(株)
美術館連絡協議会への支援 |
| アイデア賞 | ❖ カスミグループ
「くわたしの企画」応援します!」の実施 |
| 地域文化賞 | ❖ (株)駒形どぜう
「江戸文化道場」等の開催 |
| バリアフリー賞 | ❖ トヨタ自動車(株)
「トヨタ・エイブルアート・フォーラム」の実施 |
| まちづくり賞 | ❖ (社)浜松青年会議所
浜松交響楽団の設立と運営 |

2000

- | | |
|-------|--|
| メセナ大賞 | ❖ 第一生命保険(相)
VOCA展の開催 |
| 育成賞 | ❖ (財)アフィニス文化財団
日本のプロオーケストラへの支援活動 |
| 新人育成賞 | ❖ 沖縄電力(株)
おきでんシュガーホール新人演奏会オーディションの実施 |
| 創造賞 | ❖ キヤノン(株)
キヤノン写真新世紀の実施 |
| 地域賞 | ❖ (株)神戸酒心館
神戸酒心館ホールの運営 |
| 組織支援賞 | ❖ 三洋電機(株)
大阪シンフォニカーへの支援活動 |
| 企業理念賞 | ❖ 日産自動車(株)
“子どもの想像力育成”に投資するメセナ活動 |
| 振興賞 | ❖ 日本電気(株)
NEC EARLY MUSIC SERIESの実施 |

1999

- メセナ大賞 (株) 東急文化村
複合文化施設Bunkamuraの運営
- メセナ育成賞 野村證券(株)、松下電器産業(株)、日本航空(株)、トヨタ自動車(株)
パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)への協賛
- メセナ企画賞 フィリップ モリス(株)
フィリップ モリス アート アワードの実施
- メセナ国際賞 安田火災海上保険(株)
ゴッホ美術館新館の建築支援
- メセナ奨励賞 今井書店グループ
読書と出版文化発展のための支援活動
- メセナ地域賞 住友生命保険(相)
いずみホールの運営
- メセナ普及賞 カルビー(株)ほか後援会加盟社
能楽研究・公演団体「橋の会」の支援

1998

- メセナ大賞 朝倉不動産(株)
代官山ヒルサイドテラスにおける文化活動
- メセナ育成賞 大川創業(株)
関西フィルハーモニー管弦楽団への支援活動
- メセナ企画賞 九州電力(株)
若手工芸家の国内外派遣制度
- メセナ国際賞 (株)ベネッセコーポレーション
直島文化村ベネッセハウスの運営
- メセナ奨励賞 (株)両国シティコア
シアターXの運営
- メセナ地域賞 (財)たましん地域文化財団
多摩地域における文化活動
- メセナ普及賞 キリンビール(株)
キリンプラザ大阪の運営

これまでの受賞企業

1997

- | | |
|--------|--|
| メセナ大賞 | ❖ 主婦の友グループ
カザルスホールの運営 |
| メセナ育成賞 | ❖ 東京ガス都市開発(株)
パークタワー・アートプログラム ダンスシリーズの実施 |
| メセナ企画賞 | ❖ 松下電器産業(株)
阪神アートプロジェクトへの支援 |
| メセナ国際賞 | ❖ 在日ダイムラー・ベンツグループ
ダイムラー・ベンツグループ アートスコープ ガスコミュニ・ジャパニーズ・アート・スカラーシップの実施 |
| メセナ奨励賞 | ❖ (株)ローザ
斎藤記念川口現代美術館の運営 |
| メセナ地域賞 | ❖ (株)みちのく銀行
ドキュメンタリー映画「サワダ SAWADA」の制作 |
| メセナ普及賞 | ❖ 六花亭製菓(株)
十勝に根ざした芸術文化活動 |

1996

- | | |
|---------|--|
| メセナ大賞 | ❖ アサヒビール(株)
ロビーコンサートを中心とする社会に開かれた未来文化創造型メセナ活動 |
| 審査委員特別賞 | ❖ キヤノン(株)
「アートラボ」の企画・運営 |
| メセナ育成賞 | ❖ (株)毎日新聞社
「第64回日本音楽コンクール」(主催 毎日新聞社・日本放送協会)の開催と長年にわたる同コンクールの運営 |
| メセナ企画賞 | ❖ (株)ヨークベニマル
絶版になった地域歴史書の復刻・発刊事業 |
| メセナ国際賞 | ❖ 凸版印刷(株)
「欧米のポスター100」復刻事業 |
| メセナ奨励賞 | ❖ (株)海文堂書店
「アート・エイド・神戸(阪神大震災文化復興)」の実施 |
| メセナ地域賞 | ❖ (財)八十二文化財団
心の豊かさを求めて～八十二文化財団10年のあゆみ～ |
| メセナ普及賞 | ❖ 大日本印刷(株)
「ギンザ・グラフィック・ギャラリー」10周年企画の実施 |

1995

- メセナ大賞  **TOA (株)**
ジーベックホールを中心として行っている音文化啓蒙活動
- 審査委員特別賞  **(財) 京都服飾文化研究財団**
「モードのジャポニズム〜キモノから生まれたゆとりの美〜」展の開催など
- メセナ育成賞  **(株) パルコ**
「URBANART (アーバナート)」の開催
- メセナ企画賞  **三菱広報委員会**
国際識字年記念・三菱IMPRESSION-GALLERY〜アジア子供アート・フェスティバル〜の実施
- メセナ国際賞  **(財) 大同生命国際文化基金**
「アジアの現代文芸」プログラムの翻訳出版
- メセナ奨励賞  **広島信用金庫**
「ひろしま平和能楽祭」「青少年のための能楽鑑賞教室」の開催
- メセナ地域賞  **稚内信用金庫**
稚内市での札幌交響楽団定期公演の全面的支援など
- メセナ普及賞  **(財) 三井海上文化財団**
地域住民のためのコンサートの共同主催

1994

- メセナ大賞  **サントリー (株)**
サントリーホールの運営と活動
- 審査委員特別賞  **(株) タダノ**
イースター島モアイ像修復活動
- メセナ育成賞  **(株) 東急文化村**
シアターコクーン戯曲賞の運営
- メセナ企画賞  **三和酒類 (株)**
美術・文学・建築等を含む文化学研究・出版活動
- メセナ国際賞  **(財) 日航財団**
世界こどもハイク (俳句) コンテストの運営
- メセナ奨励賞  **(株) あさば旅館涵翠閣**
「修善寺芸術紀行」の実施
- メセナ地域賞  **カトーレック (株)**
四国民家博物館の運営
- メセナ普及賞  **(財) 日本生命財団**
「博物館総合案内」書の出版

1993

メセナ大賞

- ❖ **セゾングループ**
セゾン美術館の運営

メセナ特別賞

- ❖ **(財)トヨタ財団**
「隣人をよく知ろう」プログラムの実施

- ❖ **フィリップ モリス (株)**
日本美術修復計画への支援

- ❖ **(株)南日本放送**
MBCユースオーケストラの運営

メセナ賞

- ❖ **大阪ガスグループ**
扇町ミュージアムスクエアの運営

- ❖ **(財)東芝国際交流財団**
国内外の美術館、博物館などへの助成

- ❖ **日本生命保険相互会社**
30年にわたるニッセイ名作劇場の協賛と日生劇場の運営

- ❖ **松下電器産業 (株)**
グローブ座への支援

- ❖ **(財)ローム ミュージック ファンデーション**
音楽文化振興活動

1992

メセナ大賞

- ❖ **(株)すかいらーく**
(財)東京交響楽団の演奏活動支援

メセナ特別賞

- ❖ **(財)末永文化振興財団**
末永文化センターの運営

- ❖ **ぴあ (株)**
PFF '91 (ぴあフィルムフェスティバル) の開催

- ❖ **(財)ポーラ伝統文化振興財団**
わが国の伝統文化の保存、伝承、普及、振興に関するメセナ活動

メセナ賞

- ❖ **(株)紀伊國屋書店**
紀伊國屋ホールの運営

- ❖ **シャチハタグループ**
ジャパン・アート・スカラシップの協賛

- ❖ **セゾングループ**
MUSIC TODAY '91の開催

- ❖ **日本アイ・ビー・エム (株)**
IBMウェルフェア・コンサートの開催

- ❖ **(株)紅三**
ベニサン・スタジオ、ベニサン・ピットの運営

1991

メセナ大賞

- ❖ **林原グループ**
国際芸術・文化振興奨学金制度の創設ほか

メセナ特別賞

- ❖ **(株) INAX**
建築、現代美術等の展覧会開催、出版ほか

- ❖ **コニカ(株)**
大英博物館日本ギャラリーの設立資金援助ほか

- ❖ **新日本製鐵(株)**
35年にわたる新日鉄コンサートの開催、音楽賞の創設

メセナ賞

- ❖ **岩谷産業(株)**
ふるさと交響楽シリーズなどのN響への協賛

- ❖ **オムロン(株)**
クレアティヴィタリアの特別協賛ほか

- ❖ **セイコーエプソン(株)**
サイトウ・キネン・オーケストラの欧州公演協賛

- ❖ **トヨタ自動車(株)**
アマチュアオーケストラの支援活動

- ❖ **モービル石油(株)**
モービル・ライブ・サウンズの提供

(社)企業メセナ協議会会員

正会員

アート アソシエイツ ジャパン(有)	住友生命保険(相)
(株)I&S/BBDO	セイコーエプソン(株)
あいおい損害保険(株)	(株)西武百貨店
(株)秋村組	(株)西友
朝倉不動産(株)	(株)西洋フードシステムズ
(株)アサソー ディ・ケイ	(株)世界文化社
(株)朝日広告社	積水化学工業(株)
(株)朝日新聞社	(株)セゾン情報システムズ
アサヒビール(株)	全国朝日放送(株)
朝日放送(株)	セントラル警備保障(株)
(株)アシェット婦人画報社	(株)増進会出版社
味の素(株)	ソニー(株)
アプライドテクノロジー(株)	(株)損害保険ジャパン
一帆会・昭和電工グループ	第一生命保険(相)
(株)イトーヨーカ堂	(株)大広
(株)INAX	大正製薬(株)
エクソンモービル(有)	大同生命保険(株)
(株)エフエム東京	大日本印刷(株)
エルメス・ジャポン(株)	タイムラー・クライスラー日本ホールディング(株)
王子製紙(株)	(株)ダイヤモンド社
大阪ガス(株)	大和証券SMBC(株)
オムロン(株)	武田薬品工業(株)
(株)オンワード樫山	(株)竹中工務店
花王(株)	中部ガス(株)
鹿島建設(株)	TOA(株)
(株)カスミ	TBS(株)東京放送
カトーレック(株)	(株)テレビ東京
カネボウ(株)	(株)電通
関西電力(株)	東海旅客鉄道(株)
キッコーマン(株)	東急建設(株)
キヤノン(株)	東京ガス(株)
九州電力(株)	東京急行電鉄(株)
(株)求龍堂	東京テアトル(株)
京セラ(株)	東京電力(株)
麒麟ビール(株)	(株)東京ドーム
(株)クレディセゾン	(株)東京三菱銀行
(株)現代彫刻センター	東光電気工事(株)
(株)講談社	(株)十勝毎日新聞社
(株)光文社	凸版印刷(株)
コスモ石油(株)	トヨタ自動車(株)
(株)産業経済新聞社	(株)トライグループ
サントリー(株)	西日本旅客鉄道(株)
三洋電機(株)	(株)ニチレイ
三和酒類(株)	日産自動車(株)
ジー・アイアール・コーポレーション(株)	ニッセイ同和損害保険(株)
(株)ジェイティービー	日本興亜損害保険(株)
(株)資生堂	日本酸素(株)
清水建設(株)	日本信販(株)
(株)集英社	日本電気(株)
(株)主婦と生活社	(株)ニッポン放送
(株)主婦の友社	(株)日本ユニバックホールディング
(株)小学館	日本アイ・ビー・エム(株)
松竹(株)	(株)日本経済新聞社
(株)新潮社	日本生命保険(相)
新日本製鐵(株)	日本たばこ産業(株)

ノボ ノルディスク ファーマ(株)
 野村證券(株)
 バイオニア(株)
 (株)博報堂
 (株)パシフィックツアースステムズ
 (社)林原共済会
 (株)パルコ
 ぴあ(株)
 東日本電信電話(株)
 久光製菓(株)
 (株)日立製作所
 フィリップ モリス(株)
 富士ゼロックス(株)
 (株)フジタ
 富士通(株)
 (株)フジテレビジョン
 (株)文藝春秋
 本田技研工業(株)
 (株)毎日新聞社
 (株)マガジンハウス
 松下電器産業(株)
 みずほインベスターズ証券(株)
 (株)みずほホールディングス
 (株)みちのく銀行
 三井住友海上火災保険(株)
 (株)三井住友銀行
 三井物産(株)
 三井不動産(株)
 (株)三越
 三菱地所(株)
 三菱重工業(株)
 三菱商事(株)
 メルシャン(株)
 (株)ヤギコーポレーション
 安田生命保険(相)
 (株)山武
 ヤマト運輸(株)
 ヤマハ(株)
 (株)吉野工業所
 (株)吉野家ディー・アンド・シー
 (株)読売広告社
 (株)読売新聞社
 (株)リクルート
 リシュモン ジャパン(株)
 ルイ・ヴィトン ジャパン(株)
 ローム(株)
 ワールドエール(株)
 (株)ワコール

準会員

(特)アートネットワーク・ジャパン
 EU・ジャパン フェスト日本委員会
 茨城県
 オルフェウス室内管弦楽団
 神奈川県
 (社)企業メセナ群馬
 京都商工会議所
 京都橘女子大学文化政策研究センター
 (財)京都服飾文化研究財団
 (財)清春白樺美術館
 慶應義塾大学アート・センター
 (株)劇団影法師
 劇団四季
 (株)劇団飛行船
 (財)公益法人協会
 (財)埼玉県芸術文化振興財団
 佐賀県企業メセナ協議会
 (株)シアターワークショッブ
 (有)ジャパン・アーツ・リンク
 昭和音楽大学
 (財)新国立劇場運営財団
 (財)セゾン文化財団
 (財)たましん地域文化財団
 中央区文化・国際交流振興協会
 東海メセナ研究会
 東京都生活文化局文化振興部
 (財)東京都歴史文化財団
 (財)堂本印象記念近代美術振興財団
 (株)トナカイ
 中札内美術村
 (株)ニッセイ基礎研究所
 (社)日本演奏連盟
 (社)日本芸能実演家団体協議会
 (財)日本交通文化協会
 (財)八十二文化財団
 (株)ピー・エム・エフ センター
 (株)フジカルチャー・プランニング
 藤沢市
 (財)北海道文化財団
 (財)水戸市芸術振興財団
 山口市

(2002年10月1日現在・50音順)

(社)企業メセナ協議会の活動紹介

社団法人企業メセナ協議会は、企業による芸術文化支援活動を啓発・奨励し、わが国の芸術文化の向上・発展に寄与することを目的として、1990年に設立されました。企業のメセナ活動が推進される環境を整備すべく、さまざまな活動をおこなっています。

●— メセナ活動調査

わが国の企業や企業財団によるメセナ活動の実態を毎年調査。その結果をオンラインデータベース「メセナビ」としてホームページ上で公開するほか、『メセナ白書』として刊行します。

●— メセナ大賞

毎年、企業や企業財団がおこなったメセナ活動を募集し、特に優れた活動を選んでその功績を称えて表彰します。

●— セミナー、シンポジウム

メセナや芸術文化を取り巻く諸問題をテーマに取り上げ、セミナーやシンポジウムを随時開催しています。

●— 情報紙

企業メセナや文化行政、アートマネジメントなど幅広い情報を盛り込んだニュースレター『メセナnote』を隔月で発行しています。

●— 助成認定

協議会が認定した芸術活動に対して企業や個人が協議会経由で寄付をすれば、税制上の優遇措置を受けられる仕組みを設けています。

●— メセナ・コーディネート

メセナや芸術文化創造のインフラ整備に関する各種プログラムへの企画協力や、講師の派遣などをおこなっています。

●— 国際交流

世界の企業メセナ組織との交流に努め、情報交換や国際会議への参加、海外視察団の派遣などをおこなっています。

●— 情報ライブラリー

企業メセナに関する書籍や資料を自由にご覧いただけるよう、ライブラリーを設けています（要予約）。

詳しくは協議会のホームページをご覧ください。

<http://www.mecenat.or.jp/>



「メセナ大賞2003」の募集要項は、
2003年3月に発行する予定です。
詳細は企業メセナ協議会事務局まで
お問い合わせください。

大賞部会

メセナ大賞2002の運営ならびに応募案件の調査・取材は、
企業メセナ協議会・大賞部会メンバーがおこないました。

部会長	加藤恒夫 [大日本印刷(株)]
メンバー	石綿祐子 [(株)電通]
	大森一正 [日本生命保険(相)]
	高辻ひろみ [(株)資生堂]
	西田克彦 [日本電気(株)]
	大和 滋 [(社)日本芸能実演家団体協議会]
	横尾 優 [鹿島建設(株)]
事務局	出口正之(専務理事)
	角山紘一(事務局長)
	荻原康子
	若林朋子
	渡辺真知子
	北村智子

2002年11月29日 発行・社団法人 企業メセナ協議会



Association for Corporate Support of the Arts

社団法人 企業メセナ協議会

100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1

有楽町マリオン13階

Tel. 03-3213-3397

Fax. 03-3215-6222

URL <http://www.mecenat.or.jp/>

E-Mail mecenat@mecenat.or.jp